



## 各コントロールについて

- VOLUME** 全体のボリュームをコントロールします。
- FUZZ** FUZZ フットスイッチをオンにしたときの FUZZ 量を設定します。
- BASS** 低音域を調節するアクティブコントロールです。センター位置から +/- 20dB のコントロールが可能です。
- MID.FREQ** 中音域の調節中心周波数をコントロールします。
- MIDDLE** 中音域を調節するアクティブコントロールです。センター位置から +/- 20dB のコントロールが可能です。
- TREBLE** 高音域を調節するアクティブコントロールです。センター位置から +/- 20dB のコントロールが可能です。
- VOL** OCTAVE 回路のボリュームをコントロールします。
- BLEND** クリーンとファズ / オクターブのミックス量をコントロールします。
- OCT** OCTAVE フットスイッチをオンにしたときの OCTAVE 量を設定します。

## ANALOG PLUG-INS について

アナログ・プラグインにより、ペダルを買い換えることなく、歪み回路を完全に変更することができます。異なるプリセットをロードするソフトウェア・アップデートではなく、歪みペダルを構成するすべてのオペアンプ、トランジスタ、ダイオード、抵抗、コンデンサを含む完全なアナログ回路基板を交換することが可能です。この機能によりペダルを一度購入すれば、常に新しいモジュールでアップデートすることができます！

本機には下記の二つのプラグインが付属しています。

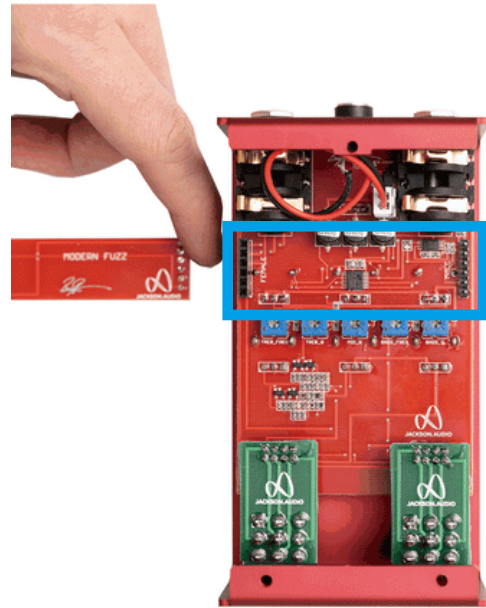
### MODERN FUZZ

MODERN FUZZ プラグインは、低めの設定でのヴィンテージスタイルのファズから、高めの設定での唸るようなスピッティングファズまで、全てをこなし、ギターのパフォーマンスを下げると見事にクリーンアップします。

### FUZZ CLASSIC/VINTAGE

スマイリーフェイスのクラシックファズ！このプラグインはゲインが低く、よりルーズでソフトなフィーリングです。このプラグインは、初期のジミのトーンに最適です。

### プラグインの交換



筐体背面のネジを取り外し、裏蓋を開け、上図の四角の箇所の基板をまっすぐ引き抜き、交換したい基板を左右のスロットにしっかりと刺さるように差し込みます。その後裏蓋を閉じ、ネジを取り付けて完了です。

## PARAMETRIC EQ について

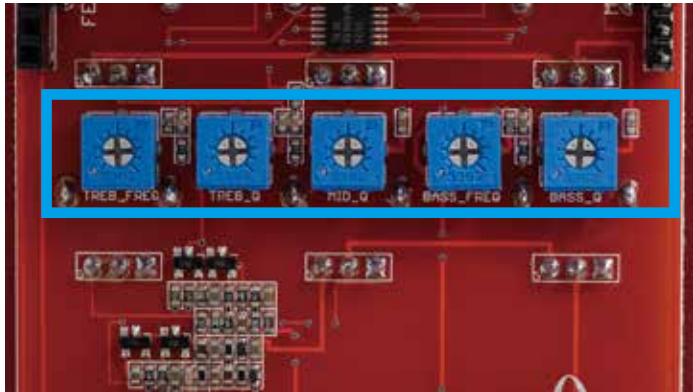
トーンのイコライジング、特に中音域は、ギターが存在感を発揮する場所です。中音域が足りないと、ギターがミックスに埋もれてしまいます。高音が出過ぎると、突き刺さるような不快なトーンになります。低域が強すぎると、バスドラムやベースとサウンド的に競合してしまいます。FUZZの表の4つと筐体内部の5つの合計9つのパラメトリックEQを使えば、トーンを自在に操ることができ、あなたのリフがミックスに埋もれてしまうことはありません！

BASS LEVEL- 外部ノブ。低音の強弱を調節する。+/- 20dB  
BASS FREQ- 内部トリマー。調節中心周波数を選択します。  
BASS Q- 内部トリマー。選択した周波数の狭さ、広さを調節します。

MID LEVEL- 外部ノブ。中音域の強弱を調節する。+/- 20dB  
MID FREQ- 外部ノブ。どの中音域を調節するかを選択します。  
MID Q- 内部トリマー。選択した周波数の狭さ、広さを調整します。

TREBLE LEVEL- 外部ノブ。トレブルの増減を調節する。+/- 20dB  
TREBLE FREQ- 内部トリマー。調節中心周波数を選択します。  
TREBLE Q- 内部トリマー。選択した周波数の狭さ、広さを調節します。

## 内部トリマーの調節



筐体背面のネジを取り外し、裏蓋を開け、上図の四角の箇所トリマーをドライバーなどで調節します。調節後裏蓋を閉じ、ネジを取り付けて完了です。

## OCTAVE について

いいファズといいオクターブ・ペダルは相性がいい。ジミはそれを知っていた。スティーヴィーも知っていた。そしてあなたも知っている。霞の中に紫を入れたければ、オクターブ・ペダルが必要であり、FUZZのオクターブ回路は傑出している！

FUZZのオクターブ・サーキットは、完璧なピュア・オクターブから絶叫するようなブラッター・ソニック・メイヘムまでカバーし、ユニークなオクターブBLENDコントロールにより、ヴィンテージとモダンの完璧なマリアージュを実現しています。

## BLEND

BLENDコントロールは、クリーン・シグナルとファズ/オクターブ・シグナルをミックスし、オクターブ・エフェクトを正確に調整することができます。ドイル・ブラムホールIIのようなギタリストは、オクターブを少し加えることでサウンドを少し"リフト"させ、大きな効果を得ています。

## BOOST

BLENDコントロールを反時計回りに回しきると、オクターブ回路はブーストとして機能し、ファズ回路のゲインを上げるのに最適です！

アドバイス：ブースト+ファズ・フェイス=トーン・ベンダー！

このブーストは、他のペダルをブーストしたり、常時オンにしてシグナルバッファ/ブースターとして使用するのにも最適です。

BLENDコントロールを時計回りに最大にすると、クリーン・ブレンドは行われず、OCTコントロールで設定したファズ/オクターブのみの信号となります。